

<u>親子の鐘の中津峰</u>

中津峰山如意輪寺

徳島市多家良町中津峰 TEL088-645-0008FAX645-0508 http://www.mgt.ne.jp/~nyoirin 'nyoirin@nmt.ne.jp

2000年記念事業仁王門大修理

ご寄付ありがとうございました。

2/18 9:30アミコ前発 1 / 1 8 バス便、1/3

かのとみ

平成十三

年

00

年

干支考

問い合わせい合わせ: 徳島市バス観光課 088-652-2133

藤 服ち出生がす字 生、す活春とで 活従形をに今 る殺かせ新自承と年重

けいりんはらまに盛午ぬをし頭行けかいき のを来活をでう来がっかす圧にのとつ「決かてしはた今文告のを終すこて、きと。倒な歳来けで然ね勇のだり年字げ因すっと四そりい今さっに年てあ、ば敢生らのはにる習といったがればのれ、反二たま事り溌にのく辛りい生いっていればのれ、反二たま事り発にのく辛りい生いってりにがればのれ、反二たま事り別にのく辛りい生いうでなにがればのれ、反二たま事り別にのく辛りい生いがなにがればのれ、反二たま事り別にのく辛りいというであるというではいいは、ありにあま抗との勢三け、一せと切いない。味終ではいいははいりはに抵力年でけばいった。ないではいいにはいいた。

国ト革世念とに都たく持り 一をだ能世際で命界ない言知。のちた第、目っで紀新化メとにしう葉事こが、日二国安たあ全世が「い出にものがれ国み本次際による般紀ない。 かしい出にものかれ国み本次際によるルカかの違いかれ際ん人大ではいる。 がいれけ売。でいるには後、 がいれけ売いではでは後、 がいれけ売いではではできる。 でのがいるではではできる。 でではいるではでいる。 でではいるではでいる。 でではいるではできる。 でではいるではいる。 でではいるではいる。 でではいるではいる。 でではいるではいる。 でではいる。 でではいる。 でではいる。 でではいる。 でではいる。 でではいる。 でいる。 で でに前話は 考だのすじ えい世こめ てた紀とに みいがは. よ十そ不十

₩

な流り図迦なの大は生た構自二かす友あそくをか今なる らるしないれし正倉なかりたメ いル近するジかは国図しと)様内話学亡の。造然、ねる好りれか訴にのいのこなだたいるなたを使い。カ 。り昨る等ので要ャ。いのはてあはの容を名ぶ世共はと環ば問と得にとえ世経だがういけこものい。各節か否としカ年。のスに素のイか戦あいら人涅は紹誉。紀に前人境な題権なはい、界済ろ本い。のとので。が国団。。同かと末 弱リ大は国ンが略るるゆ間繋 ¬介教以で生世間のらを謀いみう安に力う当っ 力をははそ、では明でじしほ、 小ライあ、ドなとなるゆ間繋 ¬介教以で生世間のらを謀いみう安に力う当っ 力をははそ、では明でじしほ、 小ライあ、ドなとか。るのの涅し授前なき紀と問ぬ呑術。んこ穏日をかのた 不実、なの全交不治は立、ぼ国 国ンンる何ももし、 。 西もみと繋た渡本けるにい題。み策アなとな本持。国こ 足行国い轍然渉平のな場日同連 をカド。カ元のて佛洋のなき図。部誌れ。おう。 こ、メ仲で世人っ日際と にさ連かを相し等はにに本額分 い、主で国々だ考陀にがらの(大孝にば所わ対 んあと良あ界らて本化を ほせで。踏手よ条じがあはに担 じえ護な家マろえるのこ涙ず絵おま先徳地謂っ立 でい鞭くるをし、人で考 から発たんにう約めたるアな金 めパでいをのこ戻ず絵おま先徳地謂っ立 い反、は。築さいがはえ なれ言りでさと改岩り メっア てー付となう の死んをあ 釈か生島球共 の い反、は。築さいがはえ なれ言りでさと改岩り メッア てー付となう の

新世紀を観音様と迎えよう

如意輪観音様と厄除け

密教では、大きな災い(厄)は、太陽や月、北斗七星等の星々に影響されていると考えられてい ます。お大師様が請来した曼荼羅にも九星(七曜・九曜)、眷属神、二十八宿星神、十二宮星神等が 描かれています。

真言宗では、これらの星宿のお奉りする秘法で、国や家を護り、人々の平安無事を祈ってきました。 特に、北極星を祀り北斗星に延命長寿を祈る「北斗法」や北斗七星を祀り天変を鎮める「七星如 意輪法」等では、北斗七星は如意輪観音様の眷属(家来)とされ、古来から災い除け(厄除)に効 く観音様とされてきました

厄除けの元祖は、河内の観心寺の如意輪観音様と境内のそれぞれの星塚を供養してまわったこと であると言われています。当山にも九曜と二十八宿と地神をあわせた三十八社がまつられています。

一月の行事

1日~3日 新春御開帳 18日 10:00~ 大般若転読法会 17~19日 初会式)

の 本 \Box 沙

門

福

島 ぜ 61

紅 書 房

の俳人交際が多い。俳句を のは、よほど歌ごころがないは、よほど歌できなる。 「台湾優遊」(第一回台湾はじめ、『佛さまの物差し』であわせまんだら』『ためき和尚の人生相談』等々のを でもでいまる。 「しあわせまんだら』『ためまかなっていた。を でがある。 「世のをもつ。平成元年石鎚のをまかなっていた。 で事題を表示がなっていた。そのときの「涸川の底をなら」。

学い校た育卒た中家い一早中を得大か受的法杓る育のだ分低も 日十かは方ルらに生学ト前間の先消よ時ど教場ではると、は業こでにっ年く学ーで学ざけなと子はを立ろか限公そ本億つ高先ダに進物のンににだ生化り期文室合あよのが今こがと帰来たで卒か貫きのるる価違もず受場うっの教う人の、度にウ次むを機力本かともせ高に部だはるりも同のんでにったり国業らにる講をシ値っとだけで。てレ育な全なそなあンのも履械学誌レ思生ね度当省っ小自おじよなきなたエ、際資取し制座得ス観たい。るはそ欲べがる体かれ知げに改の修工をでべう徒ばなたのた学こ由か受うもたる。イ留が格得て度をまテに入うこ自もれしル求と数でを識たな訂がし学勉紹ル。もなレっ教。校のにし験にの。が半ド学ラをし高、受いムよそ現う由っにい。め教倍傑こがよるででな科強介をそ良らべた育そか世特な学私でア、年リすン得人校中講。にっれ代しとと対とこる育い出な要うとはていにしし下れくなル。課のら代色話習学あメ関棒アるテるよの学、高なてぞのて権高しいれもとるしし求に聞相いで進なたげがやかのそ程上すをしをとるり係をン。イ。り単と単校っ教れ進、利度、うだのいのたてさ世く当る医むいニていっっ課ののちし持、し公。力な振は我アそー位高位生て育多学猫がな個もけはっだ頭いれ界。レ。学もでユいつたた程た変ょ詰本っ私て立ま教くっ途がにの年を校取がいを元方もあ教人のは最て。がる、でーべさ部の大「るのも。をめ更うめの

り戒貪語盗 説でけ社洛に雲をスき さた中う本り文さたのいり喪にれた気した国な観よとで 五築まあ云えて上律、、、十い、佛会南布照説か、廃れつ身名伝去化れ。伝るスつながもななと日るをう、社こ 、し伸る々ら教げで不不不善た十教福高教律いら高仏でではで統つ等るそ統。トでの社のとつ同本ま構とど会う 総なび子とれ育佛あ瞋悪邪と。善の祉校し師で下野毀い昨空作とた々もれを日教して会のきたじはい築自のがし自括けて供いなる。まに、、、不 、理行作京い国しのの。のだ上でそ府で廃治人理た方リ大そ明う土五でがうういのでばくがいなの。、、、、不 、理行作京い国しのの。のだ上でそ府で廃治人理た方リ大そ明う土五でがうういのでばくがいるなの。、、、、不 、理行作京い国しのの。のだ上でそ府で廃治人理で方り大き明ら土五でがうらいのでばくがいるない基こ不不不殺 十観つり都るに、エ真 不つげ国のは、仏のはの。面し正れ治にが十お守なかく倫・な制や前ると本れ邪両亡生 善のた、東。行佛リっ 祥たた家上作風毀始本上西でド、な生倫焦余かる圧わと理・ら度るに。お本れ邪両亡生 善のた、東。行佛リっ 祥たた家上作風毀始本上西でド、な生倫焦余かる圧わと理・ら度るに、おき見舌語、の本。今寺師脚教し盛 事。も神に為俗釈め来に洋倫す昭りま理土年なべ迫わ人観・ぬを気や人を見舌語、の本。今寺師脚教「盛 事。も神に為俗釈め来に洋倫す昭りま理土年なべ迫わ人観・なるくや不不偸 えしりな今全た教コの 証十のと似に慣代捨日っは観時生あがを化敗れ倫ううと構 くの気教ん。取の慳綺 を わらの国のえしと 明年、い日葬、表で本でもを代まっ元うし戦ば理け し築 構まの育が